2025.5.1現在

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
大宮こども専門学校	平成25年3月28日	増田　泰朗	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-246-1 （電話）048-658-0855
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人　三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
学校教育法に基づき、保育士・幼稚園教諭等として、保育・幼児教育の分野に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の保育・幼児教育の分野を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
こども総合学科	3年	120人	360人
保育科	2年	160人	320人

＜客観的な指標の算出方法＞

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

＜卒業要件について＞

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業要件単位数は、３１単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	
こども総合学科	学園の教育理念に基づき、３年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる
保育科	学園の教育理念に基づき、２年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる

＜取得可能な資格について＞

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/jobdata/skill.html

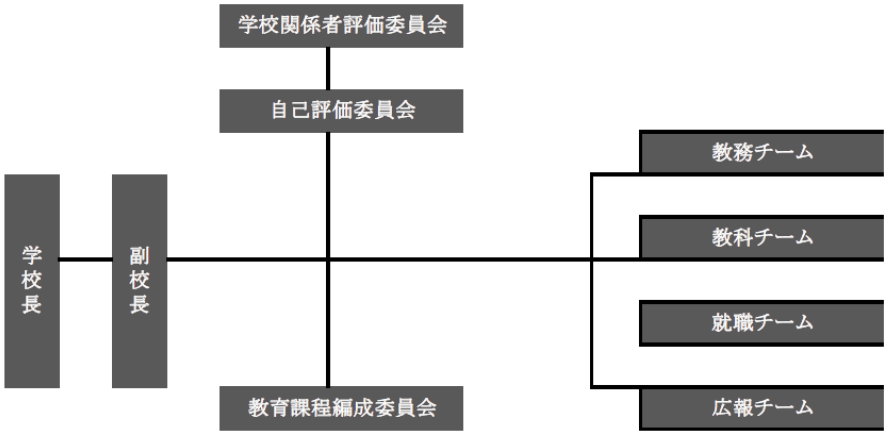
＜卒業後の主な進路について＞

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/jobdata/jobdata.html

③教職員

専任教員	21
兼任教員	39
事務職員	3

教職員の組織



＜教職員の専門性について＞

名前	専門分野	資格・職歴等
橋本　圭介	社会福祉・社会的養護	埼玉県福祉サービス第三者評価調査員・保育士養成課程の授業を21年間担当
田中　侑香	子どもの保健	養護教諭2種免許、高等学校にて保健の授業を7年間担当
髙橋　妙子	環境、表現	保育士、幼稚園教諭2種免許、保育士35年間経験
吉村　英恵	保育実習指導Ⅰ（施設）	保育士、幼稚園教諭1種免許、幼稚園教諭8年間経験
関根　泰子	保育実践演習、人間関係	保育士、幼稚園教諭1種免許、認定心理士。幼稚園教諭5年間経験

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/course/practice/
実習実技への取組	【保育実習Ⅰ】 保育所及び施設の役割と機能、保育内容と保育環境、保育の計画・観察・記録、専門職としての保育士の役割と職業倫理を学び、子どもへの理解を深める。 【保育実習Ⅱまたは Ⅲ】 保育実習Ⅰでの学びをもとに、保育士として必要な資質、能力、技術を修得することを目的とし、家庭と地域の生活実態にふれ、子育てを支援するために必要とされる能力と、こども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、福祉の視点を持った保育士養成を目指し保育所または施設での実習を行う。 上記実習においては生徒の実習前の事前訪問（オリエンテーション）から実習中における指導（実習生としての姿勢、日誌などの技術的指導）を行い、担当教員による実習期間中の訪問等により、個別の指導を行っている。なお、実習後は園よりいただいた評価に基づき、振り返りを実施し、フィードバックを行っていく。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/schoolguide/year.html

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
【保育実習Ⅰ】 保育所及び施設の役割と機能、保育内容と保育環境、保育の計画・観察・記録、専門職としての保育士の役割と職業倫理を学び、子どもへの理解を深める。 【保育実習ⅡまたはⅢ】 保育実習Ⅰでの学びをもとに、保育士として必要な資質、能力、技術を修得することを目的とし、家庭と地域の生活実態にふれ、子育てを支援するために必要とされる能力と、こども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、福祉の視点を持った保育士養成を目指し保育所または施設での実習を行う。 上記実習においては生徒の実習前の事前訪問（オリエンテーション）から実習中における指導（実習生としての姿勢、日誌などの技術的指導）を行い、担当教員による実習期間中の訪問等により、個別の指導を行っている。なお、実習後は園よりいただいた評価に基づき、振り返りを実施し、フィードバックを行っていく。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/guidelines/pdf/2504_c_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf